



2025 明治安田 J3 リーグ 第 12 節
5/6 (火・祝) 19:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest

アスルクラロ沼津

順位表

5/3現在
基本 11試合消化時点

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から視て）

注：＊印は消化試合が数字分少ない

1	栃木 C	24p	+9	19	10	
2	FC大阪	22p	+5	15	10	A△
3	八戸	20p	+4	12	8	H●
4	宮崎	19p	+4	15	11	
5	奈良	19p	+3	16	13	A△
6	福島	18p	+2	20	18	A●
7	鹿児島	17p	+6	18	12	
8	北九州	17p	+4	11	7	HO
9	金沢	17p	+1	14	13	H●
1*10	松本	15p	-1	11	12	H△
11	高知	12p	-2	19	21	
12	栃木 SC	12p	-2	6	8	H●
1*13	長野	11p	-4	11	15	
14	相模原	11p	-5	9	14	
15	琉球	10p	-3	8	11	
16	讃岐	10p	-4	8	12	HO
17	群馬	10p	-5	14	19	A△
18	岐阜	10p	-5	11	16	---
19	鳥取	10p	-5	8	13	A●
20	沼津	9p	-2	8	10	

次回HomeGame

第14節 vs.高知ユナイテッド

6/1 (日) 19:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

今日もここから
串かつで一杯
煮込み珍道中
14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)
※売り切れ次第、終了です
<定休日:日曜・祝日>
TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10 分

★

アミカ

ドミ
イン

JR
岐阜駅

通算対戦成績	全11試合 (J3:10試合、天皇杯: 1 試合) 岐阜5勝 / 沼津3勝 / 3分け Jリーグ岐阜ホーム戦: 4勝0分1敗			
直近の対戦結果	2024/07/20 沼津 2-1 岐阜 得点者:文仁柱 J3 - 22節@愛鷹			
ここ 3 試合の 公式戦の 結果	岐阜	2025/05/03 J3 - 11節@正田スタ 群馬 1-1 岐阜	沼津	2025/05/03 J3 - 11節@愛鷹 沼津 0-1 八戸
		2025/04/20 J3 - 10節@長良川 岐阜 1-0 讃岐		2025/04/27 天皇杯県予選@愛鷹 沼津 1-3 岳南FM
		2025/04/13 J3 - 09節@長良川 岐阜 0-1 栃木SC		2025/04/23 J3 - 05節@とうスタ 福島 1-1 沼津

● J3 リーグ 2025 シーズン、チームの調子がなかなか上がらずに苦しみ続ける FC 岐阜。
4/20 (日) 第 10 節・ホーム讃岐戦は、前半 31 分に #10 北龍磨のミドルで挙げた貴重な 1 点を、
GK #31 セラテスが何度となく好セーブを見せるなどして、何とか守り切って 1-0 で勝利。
6 試合ぶりの勝利、そして今季初の無失点試合で勝点 3 を掴み取ることができた。続く 5/3 (土)
第 11 節・アウェイ群馬戦は、試合の流れを群馬に完全に握られ、前半シュートを撃てずに終
わる。しかし、後半には修正がされて、後半 9 分に相手ゴール前での崩しから、#24 栗飯原尚
平のゴールで先制点を挙げる岐阜。このまま無失点で試合を終えたい岐阜だったが、終盤に群
馬の攻撃に耐えきれず、後半 45 分に同点に追いつかれてしまう。そして、そのまま 1-1、
勝点 1 を分け合う結果となってしまった。

この 2 試合の結果、FC 岐阜の順位は 19 位から 18 位に上昇。とりあえず、19 位 (=JFL 入れ
替え戦出場枠が想定) を脱出できたことは良かったが、最下位・沼津との勝点差はわずか 1 な
ので、すぐに順位を下げてしまう可能性もある。一方で、11 位・高知との勝点差もわずかに 2。
一気に順位を上げることができる状況にもある。さて、シーズン全 38 試合中 11 試合、約 4
分の 1 を消化している現時点で、中位から下位は混沌としている状況だと言って良いだろう。
そして上位に目を向けると、首位・栃木 C が一歩抜け出した感はあるが、独走というまでは
至っていない。まだまだ、岐阜が巻き返す余地は十分にあると言えるだろう。ただし、その
ためには、勝てる試合をしっかりと勝ちきることが絶対に必要だ。これまで 11 試合を消化して、
勝ちきれなかった試合が、何試合もあると言わざるを得ない。その最も大きな理由としては、
数を撃てば良いというわけではないが、1 試合辺りのシュート数が非常に少なく、チームとし
ての攻撃の形ができていないことだろう。また、無失点試合を 1 つしか達成できていないとい
う、守備の問題も未だに改善されていない。チームとして、どのようなサッカーを実践するの
か、その理想と実態が伴っていないとも言えるだろう。JFL は J クラブライセンス保有クラブ
がひしめいている中で、J3 の下位に甘んじている状況は、本当に危険だ。その危機感を、チ
ーム全体で共有して、目の前の 1 試合に全力を尽くして何が何でも勝利する、そういう姿勢を僕
ら岐阜サポーターに見せてほしいものだ。

さて、中 2 日での GW 連戦の 2 戦目となる今節の対戦相手は、アスルクラロ沼津。昨季は“ゴ
ン中山”こと中山雅史監督の 2 年目体制で、シーズン途中まではプレーオフ圏争いを演じてい
たが、最終盤に 3 連敗してしまい、最終順位は 10 位と残念な結果に。そして、シーズンオフ
には主力選手の多くが移籍し、補強のほとんどは大卒選手と期限付き移籍にとどまった。厳し
い状況で迎えた今季、開幕戦こそ鳥取を相手に 3-0 で快勝したものの、その後は勝利そして
複数得点の無い 10 試合が続いてしまい、現在の順位は 20 位。しかし先述したように、岐阜
との勝点差はわずかに 1、油断できる対戦相手では決してない。

沼津とのリーグ戦での通算対戦成績は、岐阜の 4 勝 3 分 3 敗・14 得点 15 失点。昨季のホーム
戦・6/8 (土) 第 16 節は、#8 荒木大吾のゴールで先制したが、その後は失点を重ね、なんと
5 失点。1-5 と屈辱的な敗戦を喫した。そして直近の対戦である 7/20 (土) 第 22 節は、前
半に先制されるが、後半 9 分に #22 文仁柱のゴールで同点に追いつく。しかし、試合終盤に
再び突き放され、1-2 で敗戦、シーズン“ダブル”を喰らってしまった。今節は、昨季のリ
ベンジも含めて、必ず勝利しなければならない。

今季の沼津は得点も少ないが、失点もリーグ 6 位と堅守の部類に入っている。その堅守を支え
ているのは、今季の守護神である GK #1 渡辺健太の存在だ。また、昨季と同様、主に後半に
投入されている #20 川又堅基と、#19 齋藤学が存在には要注意だ。一方の岐阜では、やはり
沼津でルーキーイヤーを過ごした #10 北龍磨の活躍、そして“恩返し弾”に期待したいところだ。
なかなか結果が出ない今季の岐阜。それでも選手たちを最後まで信じて、チームの勝利を最後
まで信じて、その背中を押すために、僕ら FC 岐阜サポーターの声援が必要だ。タオマフやゲー
フラ、フラッグでスタジアムを緑に染めて、時には叱咤激励しながら、響き渡るチャントや拍
手で、選手たちを鼓舞しよう。そして試合終了の笛と同時に、選手たちと共に勝利の歓喜を分
かち合い、万歳四唱そして“HYPER CHANT”を、このホームスタジアム・長良川に響き渡ら
せよう。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第10節】岐阜 1-0 讃岐

●ホーム連戦の初戦は栃木 SC を相手に悔しい敗戦を喫して、2 戦目の讃岐戦。# 8 荒木大吾をトップ下に起用して、左 WG には # 24 栗飯原尚平。うーん、# 24 あいちゃんは 2 トップの方が活きると思うんだけどなあ……4 バックもそうなんだけど、大島監督の目指す『やりたいサッカー』と、ウチの選手層で『やれるサッカー』に大きな差が生じてはいないだろうかと、僕は正直心配になっています。

そしてこの試合でも、攻撃陣がなかなか機能しない。# 8 荒木が動き回ってボールを繋いでるから、少しはマシになっているように見えるんだけど、ボールが前線に届かないというか、届いたボールをすぐに奪われてセカンドボールが拾えないし、あるいは前に運べずに後ろに戻してしまう場面が何度も。これは今日も厳しい内容だなあ……と思っていたら、前半 31 分に、相手 PA から跳ね返ったボールが、真正面でフリーだった # 10 北龍磨の前に転がってきて、コンパクトに振り抜いたシュートが見事にゴール角に突き刺さり、先制点！このリードを保ったまま、何とか前半は終了。

そして、僕は気分が重くなりながら後半を迎えた訳ですが、残念ながらその予想が裏切られることもなく（苦笑）。相手に何度となく自陣 PA 内でプレーされてピンチに。その度に、 우리가守護神・GK # 31 セランテスの好セーブに救われる。前半のも合わせると、4～5 本は止めたんじゃないかしら？相手が讃岐の攻撃陣だったことも併せて、何とか後半 45 分をしのぎきり、1-0 での勝利。今季初の無失点、そして 6 試合ぶりの勝利！それにしても、J 3 で第 10 節にしてようやく 2 勝目とかいう事実は、あまり受け入れたくないものです……（溜息）。

この試合でも、わずかにシュート 6 本、CK 1 本。攻撃面の課題が深刻なのは解消されていない。『不思議の勝ち』でも構わないから、何とか勝ちながら、課題を解消して欲しいものです。（ささたく）

●この日の屋台村では【しょうりゅう】さんのハヤシライス。でも、なんだか、妙な違和感が。あ、ハヤシライスじゃなくて店の様子がね。仲間とも、その話になって、「ご飯モノが少ないんじゃない？」という結論に納得。なんか、麺類がやたらと目立った。米が高いから？それと、屋台村のお客さん自体が少なく感じられたんで、発表された入場者数に少し驚くやら、安堵するやら（苦笑）。

試合はなんとか、粘り勝ち？ようやくの 2 勝目。暫定 18 位。でも、ひとつ下の沼津は試合数がウチより少ないし、得失点差は向こうが上。実質は未だブービーだね。ただ、これで、次節に勝てば、中の下まではいけそうだ。しかも、次節がひとつ上の群馬、その次が件の沼津。シビれるねえ。内容的には讃岐の優勢だったと思う。チャンスもクロスの回数も向こうの方が多かった。特に CK では、ほぼ、制空権を奪われて、セランテス様々状態。あれで、クロスの質がよかったら……。あと、オフサイド・ラインをふらふらしてる 10 番な。誰だよ？アレ（苦笑）。怖かった。

開幕してからずーっと、適材適所じゃない、と書いてきてて、特にアイちゃんがね……と思っていたんだけど、後半のドウドウに出したマイナスのクロスはよかった。ホントはシュートを見たいけど、コートジボワールからの補強が額面通りなら、トップでの起用は期待薄。20 人に入るためには、この試合程度の出来は必須だろうね。あ、キックオフ前からの『俺たちと共に』はボクの胸には響いたし、試合中のスネアが心地良かった。

試合後は迷ったけど、玉宮でのフラノミスタ。呑んでたら、久しぶりに不思議ルートの新戦力。試合後に何やら、スーツ姿の 3 人くらいがゴール裏にいるのが見えたけど、小松社長だったのか。「イイお知らせがあります。まだ、言えないけど♪」みたいな話があったらしいがコレだったのな。それなりに実績のある FW は楽しみ。期待してます！（ぐん、）

【第11節】群馬 1-1 岐阜

●6 試合ぶりの勝利から 2 週間。スタメンには # 16 西谷亮が復帰した一方、# 8 荒木大吾がベンチ外でちょっと心配。さて、試合は序盤から完全に群馬のペースで。そりゃ確かに昨季まで J 2 だったチームだけど、試合開始時の順位は岐阜と同じ。そして 2 週間あったはずなのに、成長が観られないというか、チグハグな動き。何度も指摘しているけれど、やっぱり両 SB が自由に動き“過ぎて”いるのは、大島監督のやりたいサッカーなんだろうけれど、今の岐阜の選手層・チーム力では、僕には危険な側面しか見えなくて。パスの精度が悪いから簡単にボールを奪われてカウンター、その際に戻り切れなくてサイドを突破されて、結局 2 CB で何とか跳ね返し、形が作れていないから再びボールを奪われ……という悪循環。それにしても、この試合の前半は（申し訳ないけれど）本当に酷かった。ボールを奪ってからの攻撃の約束事が無いのか、その約束事を選手が守れないのか、攻撃に移る（切り替える）際のミスが多すぎて。なんと前半はシュート 0 本だったとか。これで得点できない群馬のチーム事情も、かなり酷い気がします（苦笑）。

これでは後半は目も当てられなくなるかなと覚悟していたんですが……ええと、“前半は死んだふり” 作戦だったんですか？と思えるぐらいに修正が入って。後半 9 分に、やっとチームとして意図のある攻撃ができたと思ったら、# 24 栗飯原尚平が敵陣にフリーで突っ込んできて先制点！。あれ、この試合の初シュートじゃなかったっけ？（苦笑）これで流れが岐阜に傾いたと思ったんだけど、そこで追加点が奪えずに、再び流れを群馬に渡してしまう。前半よりミスは減ったけれど、群馬のミスにも助けられてゴールを守っている状況。もっと、自分たちが試合をコントロールしながら守備の時間を過ごしているんなら、見ても安心できるんだろうけど。そして、そういった切羽詰まった状況だからなのか、自陣ゴール前とはいえ、フリーでボールを回収できたのに、タッチラインに出さずに CK に逃げてしまう。そして、その CK から失点……（溜息）。その直前の CK と同様のプレーで相手 FW にフリーでシュート撃たせたら、そりゃ入る確率は上がるでしょ……。「神は細部に宿る」という格言を痛感させられるプレーでした。負けてもおかしくなかった試合で引き分けた、とも言えるけれど、勝ちきれる試合を引き分けた、という方が正しいだろう。こんな勿体ない試合を、今季はもう何試合も見せられてる。その勝点を取りこぼし続けた結果が、今の順位。そろそろ、何とかして欲しいものです。とりあえず今日の試合は、すっきりと勝って、楽しく GW を終えたいものです。（ささたく）

●結果はドロー。もちろん、勝ち点 3 が欲しかった。けど、妥当っちゃ妥当。どっちが勝ってもおかしくなかった。でも、あそこまで来たからには勝ち切らなきゃ、ね。最終盤の CK で 2 回同じプレーをさせてちゃダメなんじゃないかな？「一回めは練習。今度は決めます！」みたいな感じにさせちゃったのはもったいなかった。

DAZN の MC さんは、やたらと『ボール保持率』について語ってたけど、そんなのは『ただの飾り』ってコトを身に染みて知ってるこちとらには、なーんも刺さらなかったね。確かに、決定機はいくつか作られたけど、決められなかったら問題ない。そもそも、いくら、保持率とやらが高くても、それで決め切れてるんなら、群馬はこんな順位にいるハズがないんでね。うん、身をもってわかってるんだ（苦笑）。

だから、前半を無失点で抑えさえすれば……、と思ってたら、キッチリとそういう展開に持ち込んだの先制点。そのまま、押し切れてたら「計算通りーッ！」だったのにね。やっぱり、追加点を取れなかったのが痛かった。けど、それが出来るんなら、こんな（以下略）。いや、最低限の結果は出せた。そう思うコトにしよう。

敷島はかなり暑かったみたい。そんな中での現地闘争プラス『ビッグ・フラッグ』掲出！お疲れ様でした＞現地組。（ぐん、）

●長良川ではメイン席にいたので『ビッグフラッグ』のお手伝いをするのではない。でも、この日の観戦席はアウェーゴール裏。「ビッグフラッグ持ってきました！」となったら、もちろんお手伝いしますよ。しますけど……長くね？（苦笑）。歴戦の古株サポ氏が「自分イチで長いビッグフラッグ掲げだっ」とSNSに書いていたので、やっぱり長かったのだろう。おかげで、前半は拍手するだけの腕の力すら残っていなかった。

そんなぼくにチームは気を遣ってくれたとか？（苦笑）。前半は拍手をしたくなるシーン、なし。まあ、まったく酷いのなんの。わざと適当（雑）にパスを出しているのか、あるいは精度（技術）がないのか。「プロのサッカー・チームでもパスってこんなに繋がらないんだ……」と感心してしまったよ。相手が岐阜と同程度に絶不調の群馬だったからスコアレスで済んだけどね。

後半、その群馬の調子の悪さを物語るかのような守備、なんであそこであいちゃんがフリーになるさね……というチャンスをキッチリ仕留めて岐阜先制。そのまま逃げ切れたらよかったんだけど、まあ逃げ切るには「相手の絶不調が試合終了まで続く」という影のアシストが必要で、そこまでサッカーの神様は優しくなかった、ということか。同点に追いつかれ、さらに終了間際にはムンくんが2枚めの警告を受け退場に。なんとかそのまま1-1で終了にまで持っていけた。かくして、絵に描いたような『最底辺プロリーグの底辺対決』の出来上がり。

「岐阜が勝ち点2を失った」試合展開だけど、ダメージが深かったのは群馬サポなんじゃないだろうか？「この岐阜を相手にして、ギリで追いつくのが精一杯だったなんて……」。実際、試合後の正田スタ周辺ですれ違った群馬サポからは「勝ち点0を1にした！」って手応えはほとんど感じられなかったんだよね。

公式サイトを読む限りだけど、試合後の囲み取材で、大島監督からチーム状態についてポジティブな感想が出てくるのがなくなった。残念だけど、いまの岐阜はそういうサッカーをしている。シーズンの4分の1が終わり、そろそろ3分の1が終わろうかという時点で、この内容。これはもう「チームが不調」なのではなく「これがチームの現時点の到達点」と受け止めるしかないのかもしれない。（吉田鑄造）